

# 令和3年度 校内研究計画

伊万里市立小中一貫校滝野校

## 【学校教育目標】

故郷に感謝し 心豊かに 志を持って生きる児童生徒の育成

## 【めざす学校像】

- ・笑顔が溢れ、一人一人が輝く学校
- ・伝統を大切にし、新しい文化を創造する学校
- ・潤い、感動のある学校

## 【めざす児童生徒像】

- ・自ら進んで学習に取り組む児童生徒
- ・自他のよさを大切にする児童生徒
- ・健康で元気に生活できる児童生徒

【滝野校スローガン】 明日を夢みて学ぶ 来てよかった 行かせてよかった滝野校

## 【令和3年度 研究主題】

Society 5.0 に向けた学習方法の研究  
～ICT機器や学習支援クラウドサービスを活用した授業スタイルの開発～

## 【主題設定の理由】

令和2年、新型コロナウイルスの影響により、日本全体で一斉に子ども達の学びが止まる事態が発生し、新しい生活様式に対応する手段としてICTの利活用を加速させた。学校では、子どもたちに情報社会に続く新しい社会 Society5.0 時代を生き抜く力を身につけるために、また、子どもたちの学びに格差が生じないように、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、従来型の指導にICTを最適に組み合わせる指導方法を構築していくことが急務である。

本校は若年人口流出による地域の過疎化により、次年度から東山代小学校と国見中学校に統合される予定である。今年度ICT環境が整備され、児童生徒に一人一台の学習者用端末が導入された。端末を学習ツールとして授業の中で活用し、効果的にICT機器やクラウドサービスに対するスキルを身につけ、積極的に活用することで「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指したい。

## 【研究仮説】

ICT機器やクラウドサービスを積極的に活用することで、小規模校でも「主体的・対話的で深い学び」が実現できるであろう。

## 【本校の特性】

へき地  
極小規模校  
小中一貫校

## 【2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿】

- ①個別最適な学び
- ②協働的な学び

それぞれの学びを一体的に充実し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる

## 【「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用の基本的な考え方】

- ・個別最適な学びと協働的な学びにはICTは必要不可欠
- ・これまでの実践とICTとを最適に組み合わせる
- ・ICTを活用すること自体が目的化しないよう留意する